



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場会社名 セメダイン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4999 URL <http://www.cemedine.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒井 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 猪瀬 一弘 (TEL) 03(6421)7412  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月31日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,868	13.1	496	22.2	495	22.6	295	36.3
24年3月期第2四半期	10,498	6.1	406	△13.4	404	△18.5	216	△22.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 297百万円(38.0%) 24年3月期第2四半期 215百万円(△9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.23	19.91
24年3月期第2四半期	14.87	14.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,253	9,270	50.0
24年3月期	18,115	9,040	49.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,129百万円 24年3月期 8,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,300	13.5	940	29.3	900	23.7	500	△15.0	34.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	15,167,000株	24年3月期	15,167,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	532,616株	24年3月期	571,731株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	14,616,679株	24年3月期2Q	14,596,182株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループ関連業界は、建築土木関連市場では、震災復興需要に加え政策効果などから住宅投資が底堅く推移し、引き続き持ち直しの動きがみられましたが、工業関連市場では、欧州債務危機に端を発した世界経済の減速や長期化する円高などの影響を受けております。また、原材料調達面では、原油・ナフサ価格は乱高下しておりますが、原材料価格は依然として高値水準であり厳しい状況が続いております。

このような環境のもと当社グループは、人と環境に優しい製品や高機能製品の開発に努め、弾性粘着剤技術をコア技術とした一液湿気反応形液状弾性粘着剤を開発し、「セメダインBBX」として販売を開始いたしました。再剥離性や多用途などの特長を生かし、多くの分野において新たな需要を開拓してまいります。本製品は8月に開催されたDIY関連の展示会において一般消費者からも大きな反響をいただいております。

また、連結グループ各社との開発、生産などのグループシナジー効果の一層の追求を図り、厳しい外部環境に対応できる企業体質の強化に取り組んだほか、全額出資の子会社として、中華人民共和国上海市に思美定(上海)貿易有限公司(平成25年1月営業開始予定)の設立を、フィリピン共和国にCemedine Philippines Corp.(平成25年4月営業開始予定)の設立を取締役会でそれぞれ決議し、成長戦略の一環としてアジア地域への進出を図っております。

建築土木関連市場におきましては、住宅投資の堅調な動きや改修市場の活発な動きを受けセメダインPOSシールなどのシーリング材の売上が増加し、セメダインタイルエースなどの内外装工事用接着剤も堅調に推移いたしました。また、新たに開発した高耐久、長寿命である次世代シーリング材の採用も進み、売上高は5,472百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

工業関連市場におきましては、太陽電池向けや電子部品向けの高機能製品の売上が堅調に推移したほか、放熱性接着剤や新たに開発した導電性接着剤の売上も伸張いたしました。また、昨年12月にセメダインオートモーティブ株式会社を連結子会社化したことによる売上増加の影響もあり、売上高は4,269百万円(前年同四半期比55.8%増)となりました。

一般消費者関連市場におきましては、雇用や所得の先行きに不透明感が強い中で低価格偏重指向が続いております。海外製品の価格攻勢にさらされるなど状況は厳しく、また、前年同期に震災復旧需要として補修用途品の売上が一時的に増加した反動から、売上高は前年同四半期比12.9%減少の2,125百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は11,868百万円(前年同四半期比13.1%増)、営業利益は496百万円(前年同四半期比22.2%増)、経常利益は495百万円(前年同四半期比22.6%増)、四半期純利益は295百万円(前年同四半期比36.3%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産

流動資産は、前連結会計年度と比較し36百万円増加し13,204百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が148百万円増加し、前連結会計年度のその他に含まれている未収還付法人税が77百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度と比較し102百万円増加し5,049百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度と比較し138百万円増加し18,253百万円となりました。

## ② 負債

流動負債は、前連結会計年度と比較し53百万円減少し7,963百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が221百万円減少し、未払法人税等が138百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度と比較し38百万円減少し1,019百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度と比較し92百万円減少し8,982百万円となりました。

## ③ 純資産

純資産は、前連結会計年度に比べて230百万円増加し9,270百万円となりました。これは主に、利益剰余金が四半期純利益の計上により295百万円増加し、配当の実施により58百万円減少したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度と比較し38百万円増加し、3,682百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は416百万円(前年同四半期457百万円)となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益493百万円(前年同四半期401百万円)、減価償却費217百万円(前年同四半期203百万円)であり、主な資金の減少要因は、売上債権の増加146百万円(前年同四半期73百万円減少)、仕入債務の減少193百万円(前年同四半期55百万円)であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は302百万円(前年同四半期67百万円)となりました。主なものは、有形固定資産の取得による支出316百万円(前年同四半期63百万円)であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は77百万円(前年同四半期58百万円)となりました。主な資金の使途は、配当金の支払額58百万円(前年同四半期58百万円)であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね想定の範囲内で推移しているため、通期連結業績予想につきましては平成24年4月27日に発表いたしました連結業績予想を修正しておりません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、平成23年12月2日に「厚生年金基金解散に関するお知らせ」で開示いたしました未確定な費用の存在など、多分に不確定な要素がありますので、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,821,411	3,840,751
受取手形及び売掛金	6,636,708	6,585,613
電子記録債権	207,406	406,869
商品及び製品	1,381,512	1,355,158
仕掛品	197,642	186,458
原材料及び貯蔵品	462,872	486,002
その他	465,174	348,027
貸倒引当金	△4,679	△4,804
流動資産合計	13,168,048	13,204,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,802,250	1,747,974
その他(純額)	1,588,365	1,804,018
有形固定資産合計	3,390,615	3,551,992
無形固定資産		
のれん	484,717	458,198
その他	152,008	130,898
無形固定資産合計	636,726	589,097
投資その他の資産		
投資有価証券	572,496	552,108
その他	354,296	363,632
貸倒引当金	△7,326	△7,306
投資その他の資産合計	919,465	908,435
固定資産合計	4,946,807	5,049,524
繰延資産	743	—
資産合計	18,115,600	18,253,602
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,542,796	6,321,331
短期借入金	510,000	510,000
未払法人税等	10,384	148,516
賞与引当金	248,739	251,557
本社移転費用引当金	63,840	—
その他	641,141	731,907
流動負債合計	8,016,902	7,963,313
固定負債		
退職給付引当金	662,001	615,364
その他	395,872	404,024
固定負債合計	1,057,873	1,019,389
負債合計	9,074,776	8,982,702

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,050,375	3,050,375
資本剰余金	2,676,947	2,676,947
利益剰余金	3,568,753	3,804,550
自己株式	△186,076	△173,423
株主資本合計	9,110,000	9,358,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58,807	△77,185
為替換算調整勘定	△158,102	△151,934
その他の包括利益累計額合計	△216,909	△229,120
新株予約権	61,335	60,112
少数株主持分	86,398	81,458
純資産合計	9,040,823	9,270,899
負債純資産合計	18,115,600	18,253,602



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	10,498,415	11,868,219
売上原価	7,782,895	8,663,341
売上総利益	2,715,519	3,204,877
販売費及び一般管理費	2,308,746	2,707,977
営業利益	406,773	496,900
営業外収益		
受取利息	634	580
受取配当金	7,206	8,267
持分法による投資利益	9,191	7,876
その他	28,563	30,612
営業外収益合計	45,596	47,338
営業外費用		
支払利息	2,897	3,546
売上割引	41,560	39,165
支払補償費	1,653	1,914
その他	1,728	3,771
営業外費用合計	47,840	48,398
経常利益	404,528	495,840
特別損失		
固定資産除売却損	2,612	2,270
特別損失合計	2,612	2,270
税金等調整前四半期純利益	401,916	493,569
法人税等	169,941	186,760
少数株主損益調整前四半期純利益	231,974	306,809
少数株主利益	14,990	11,125
四半期純利益	216,984	295,683

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	231,974	306,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,815	△18,378
為替換算調整勘定	2,646	6,839
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,373	2,064
その他の包括利益合計	△16,542	△9,475
四半期包括利益	215,432	297,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,383	283,472
少数株主に係る四半期包括利益	16,048	13,861

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	401,916	493,569
減価償却費	203,867	217,479
固定資産除売却損益(△は益)	2,612	2,270
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,155	2,817
本社移転費用引当金の増減額(△は減少)	—	△63,840
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△64,802	△48,207
受取利息及び受取配当金	△7,841	△8,848
支払利息	2,897	3,546
持分法による投資損益(△は益)	△9,191	△7,876
売上債権の増減額(△は増加)	73,700	△146,029
たな卸資産の増減額(△は増加)	48,983	16,543
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,547	△193,109
その他	△55,605	86,387
小計	522,833	354,702
利息及び配当金の受取額	99,662	11,700
利息の支払額	△2,939	△3,599
法人税等の支払額	△161,760	△29,141
法人税等の還付額	—	82,925
営業活動によるキャッシュ・フロー	457,795	416,587
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△46,300	△2,010
定期預金の払戻による収入	57,894	21,995
有形固定資産の取得による支出	△63,463	△316,341
有形固定資産の売却による収入	9,580	—
無形固定資産の取得による支出	△11,045	△2,142
投資有価証券の取得による支出	△598	△598
ゴルフ会員権の取得による支出	△14,162	—
その他	600	△2,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,494	△302,058
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△58,241	△58,242
少数株主への配当金の支払額	—	△18,801
自己株式の取得による支出	△185	△651
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,427	△77,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	886	1,364
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	332,760	38,196
現金及び現金同等物の期首残高	3,746,285	3,644,274
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,079,046	3,682,471

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。